

安全にお使いいただくために

- この製品は50Hzと60Hzで仕様が分かれています。お住まいの地域の周波数に合ったものをご使用ください。
- 安全にお使いいただくために、取扱説明書の警告・注意をよくお読みいただき、使用方法などの内容を十分に理解してからご使用ください。この説明書は必ず保管してください。
- 本製品には保証書がついています。保証書は必ずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管して下さい。
- 梱包など万全を期しておりますが、ご使用になる前に必ず破損など異状がないかをチェックしてください。破損などが見つかった場合はそのまま使用せず、お買い上げ店にお申し出ください。
- 初めてセットした時は、セット後30～60分後にポンプが正常に作動しているかを確認して下さい。また、留守にする前にセットしないでください。
- 本製品は観賞魚用品です。その他の用途には使用しないでください。誤った使用方法や本来の目的以外の使用、勝手な改造、修繕などによる故障、その他の影響などにつきましては一切補償いたしかねます。
- 本製品は改良のため、予告なしに仕様、デザインを変更する場合がございます。予めご了承ください。

警告

- 生体の出し入れ・掃除・点検。移動などで水槽内に手を入れる時は、必ずすべての電源を抜いてください。(感電の恐れあり)
- 交流(AC)100V以外での電源使用はしないでください。(感電・発火の恐れあり)
- 電源プラグやコンセント部は濡らしたり。濡れた手で触らないでください。(感電・発火の恐れあり)
- 本体を改造して使用しないでください。(感電・発火の恐れあり)
- 電源プラグの刃の部分やコンセントの汚れやほこりは定期的に取り除いてください。(発火の恐れあり)

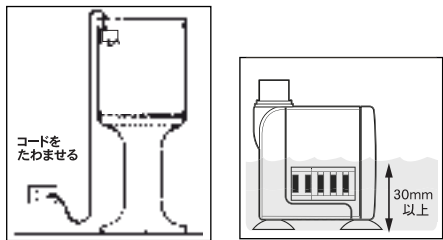
使用方法

1. 設置場所を決める

砂利や水草などを吸い込まない平らな場所を選んでください。

※電源コードに水が伝ってコンセント部を濡らさないよう、コードにたわみを設けてください。

※本製品は低水位での使用が可能です。流量調節カバーが完全に水に浸かるよう設置してください(水深3cm以上が目安)。



2. キスゴムを取り付ける

ポンプおよびポンプカバーにキスゴムを取り付けてください。

3. ホースを取り付ける (任意)

吐出口にホースを接続することができます。排水コネクターは形状の異なる2種類が付属しています。接続するホースに合った方をご使用ください。

4. 本体を設置する

水槽の壁面または底面に、キスゴムで本体をしっかり固定してください。

- 海水水槽で使用する場合は、電源プラグやコンセント部への塩だれに注意してください。いつも点検し、ふき取ってください。(漏電、発火の恐れあり)
- 引火性のもの(ガソリン、シンナーなど)の近くで使用しないでください。
- 本製品は水中専用ポンプです。必ず水中にセットしてください。空气中での空運転はしないでください。(誤作動、故障の恐れあり)

注意

- 本製品は日本仕様として製造されています。日本国内のみでお使いください。
- 屋外や観賞魚飼育以外では使用しないでください。(感電、発火、故障の恐れあり)
- 本製品を直射日光の当たる場所や凍るような場所などに取り付けたり、保管しないでください。
- 製品の仕様と異なる周波数の地域では使用しないでください。(異音、停止、故障の恐れあり)
- 電源コードに水が伝ってコンセント部を濡らさないようにしてください。電源コードをたわませて水を逃してください。(感電、発火の恐れあり)
- 電源コードを傷めないでください。[曲げすぎない、引っ張らない、重量をかけない、たばねない、加工しないなど。](感電、発火の恐れあり)
- 電源プラグを抜く時は電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。(感電、発火の恐れあり)
- 本体を落としたり、ぶつけたりして傷をつけないでください。(感電、発火、故障の恐れあり)
- 電源プラグはきちんと差し込み、タコ足配線もしないでください。(発火の恐れあり)
- 本製品はON/OFFの繰り返しを続けるような装置に接続して使用しないでください。(停止、故障の恐れあり)
- ホースは、折れ曲がったりたるんだりしないように正しく取り付けてください。

※設置する際、運転による振動や排出時の水の力によってポンプが水槽や岩石にぶつからないよう固定してください。

※本製品はポンプ底面より水を吸い上げます。ポンプ底面は底砂に埋めないでください。

5. ポンプの始動

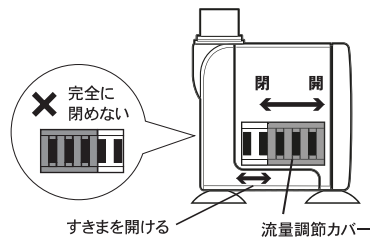
電源プラグをコンセントに差し、ポンプを始動させます。
※運転開始後30～60分後に、正常に稼働しているか確認してください。

6. 流量を調整する

本体側面の流量調節カバーを左右にスライドさせて、流量を調整することができます。

注意

流量調節カバーを左端までスライドしてしまうと、全閉に近い状態となり、流量が極端に低下したり水がでなくなってしまう場合があります。そのままの状態を続けるとポンプの故障につながりますので、流量調節カバーは左端まで閉めずに、水が常に循環していることを確認の上、ご使用ください。



- 本製品の運転を開始する前に、接続部が正しく取り付けられ、水漏れや停滞や逆流などがないかをよく確認してください。
- 小さなお子様には操作させたり、本体にさわったり、いたずらをさせないでください。(感電、発火、故障の恐れあり)
- 弱った魚、稚魚、小型魚などがストレーナー部の吸い込みに吸い込まれることがありますのでご注意ください。
- 底砂をご使用の際は、吸い込みを防ぐため、十分な距離をあけてください。(停止、故障の恐れあり)
- 1日1回は本製品が正常に作動し、水流が正常であることを確認してください。定期的に各部を掃除し、汚れの付着や目詰まりなどを防いでください。(故障、観賞魚が死に至る恐れあり)
- 電源コードは使用中に水中で劣化が進み硬化してひび割れを起こすことがあります。定期的に点検してください。(感電、故障の恐れあり)
- 使用中、異常が発生した場合は使用を中止し、生体の保全と安全のための適切な処置をおこなってください。
- ポンプは水槽システムの要です。24時間休まず稼働しているため、インペラーの摩耗、モーター劣化等により故障することがあります。大切な魚のために予備のポンプをご用意いただくことをおすすめします。
- 本製品には異常過熱防止装置を内蔵しております。なんらかの原因で長時間インペラーが止まるとポンプ本体が過熱し、異常過熱防止装置が作動してポンプは停止します。ポンプが正常に作動しているか、定期的にご確認ください。
- 水温35℃以上では使用しないでください。
- 本製品は水冷式モーターのため、使用方法や飼育環境によっては、水温がやや上昇することがあります。その場合は、水槽のガラスフタを少し開けたり、照明は不必要なときは消すなどの処置をおこなってください。
- 他の人に譲り渡す場合は必ずこの取扱説明書も一緒にお渡しください。

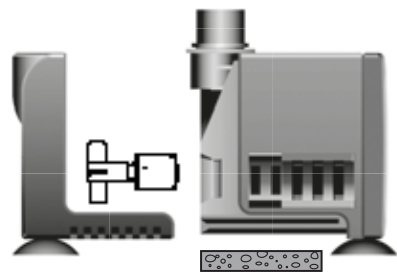
日常の点検・お手入れ

① スポンジフィルターの洗浄

1～2週間に1度を目安に、スポンジフィルターを取り出して飼育水で洗浄してください。汚れによる目詰まりは流量低下の原因となります。

② インペラー部の洗浄

下図のように各部を分解して、インペラー等のパーツを定期的に洗浄してください。インペラーを取り出した後、インペラーケース内もブラシ等で洗浄してください。

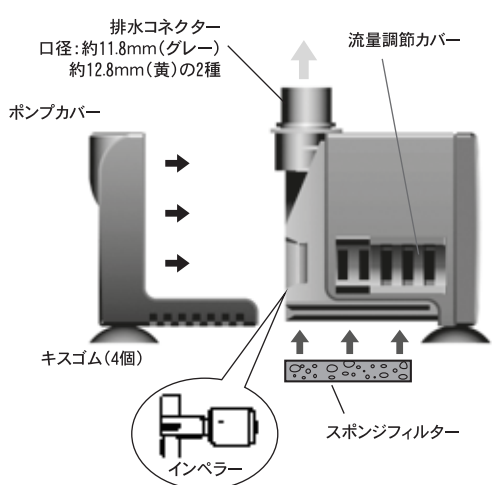


※シャフトは本体と一体になっています。

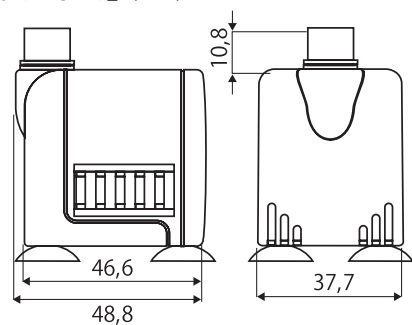
注意

長期間使用しない時や運転を止める時は、本体を水槽から取り出し、本体内部や配管、インペラーユニットなどを水道水できれいに洗浄してください。汚れの固着やサビなどが発生し、破損につながるおそれがあります。

各部の名称



【製品サイズ】(mm)



Memo